

慶應キムリア候補基準 2021年4月27日版

下記の治療歴のいずれかの に該当し、すべての除外基準に該当しない症例を候補症例とする

75歳以下DLBCL

自家移植後の残存・再発			
初発	必要治療歴	化学療法2ライン以上	
	最終治療効果	CR	
		PR	自家移植適応=>自家移植を実施してください
			自家移植非適応（年齢70歳以上、動員不良など）
		SD	（病変コントロール可能）*1
PD			
再発	必要治療歴	再発後化学療法1ライン以上	
	最終治療効果	CR2	救援療法でCR後の再発 または CR3
		PR	自家移植適応=>自家移植を実施してください
			自家移植非適応（年齢70歳以上、動員不良など）
		SD	（病変コントロール可能）*1
PD			

75歳以下tFL

必要治療歴	化学療法通算2ライン以上（必須）	
	形質転換後化学療法1ライン以上（必須）	
最終治療効果	CR	⇒ FLとしての再発 DLBCLとしての再発
	PR	自家移植適応=>自家移植を実施してください
		自家移植非適応（年齢70歳以上、動員不良など）
	SD	（病変コントロール可能）*1
	PD	

除外基準*4

はい	いいえ	CD19抗原を標的としてCAR-T療法の治療歴がない
はい	いいえ	リツキシマブ投与歴がない
はい	いいえ	アントラサイクリン系抗がん剤の投与歴がない
はい	いいえ	同種移植歴がある
はい	いいえ	T細胞豊富型/組織球豊富型大細胞型B細胞性リンパ腫（THRBCL）
はい	いいえ	皮膚原発大細胞型B細胞性リンパ腫
はい	いいえ	縦隔原発B細胞性リンパ腫（PMBCL）
はい	いいえ	EBV陽性DLBCL
はい	いいえ	リヒター症候群
はい	いいえ	バーキットリンパ腫
はい	いいえ	他の悪性疾患の合併
はい	いいえ	PS 2-4
はい	いいえ	HIV感染症（製造に関する基準）
はい	いいえ	活動性HBV感染症*2（製造に関する基準）
はい	いいえ	活動性HCV感染症*3（製造に関する基準）
はい	いいえ	活動性中枢神経病変*4（施設基準）

注意事項

- *1 病変コントロール可能とは、キムリア作成に6-7週間かかるため、この間の病変コントロールが不可能な例は不適と考えます
- *2 血清学的検査の結果でスクリーニングし、アフエレーシス1ヶ月以内のHBV-DNAで陰性が必要です

HBs抗原	+	-	-	-	-
HBc抗体	+/-	+	+	-	-
HBs抗体	+/-	-	+	+	-
適格性	不適	不適	適格	適格	適格

- *3 アフエレーシス1ヶ月以内のHCV-RNA陰性は適格です
- *4 病変コントロールが可能な中枢神経病変については、症状を評価の上、適応を検討します
- * 紹介フォーム1ページ目の除外基準の**赤枠**に該当する場合は**不適格**になります

相談開始のタイミングについて

◎ 候補基準を満たす症例

直ちにご連絡ください

可能であれば次の救援療法の実施は保留してください

○ 次回効果判定

効果判定の予定日と併せてご連絡ください

連絡方法

紹介用フォームを添付の上

慶應CAR-Tチーム 宛

メールアドレス：**keio-hematology-cart-group@keio.jp**

までお送りください